

冊

図書館だより

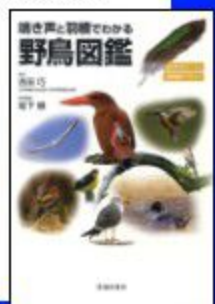
11月 PART II

読書の秋

読書週間特別企画
第3弾！今号は、
Aコース副担任、
Bコース担任、副
担任の先生方の推
薦図書紹介です。
読書週間は終わっ
てしまったけれど
まだまだ読書に親
しみましょう！



Aコース副担任 鶴巻 勝理
『鳴き声と羽根でわかる野鳥図鑑』
吉田巧監 池田書房
今年1月頃からバードウォッチング&撮影を始め、
山や湿原などに車を走らせています。出会った時の
感動や上手く撮影できた時の喜びは、
とても素晴らしいものです。また、
知らない鳥や鳴き声を図鑑で
調べたりするのも楽しいもの
です。その時頼りになるのが
この図鑑です。皆さんも少し
だけ豊かな時間を味わってみませんか！



Aコース副担任 斎藤 繁樹
『「働き方改革」の嘘』
久原穂著 集英社
長時間労働是正、同一労働同一賃金
を実現すると称して、今年8月「働き方
改革」関連法案が成立した。かねて
「日本を世界で一番活動しやすい国」に
すると公言して、企業の経済成長を最優
先させてきた安倍首相が本気で働く者の
生活・幸福を考えてい
るのか。本来ならば
「働き方改革」と称
すべきこの法案の嘘を
詳細に暴き出している
のが本書である。



Aコース副担任 瀬谷 貴光
『親不孝のすすめ—青春の独立宣言—』
小峰元著 講談社
これから社会に旅立つ高校三年生に。目次に
左右されずに、自分の考えをしっかりと持って読
んでほしい。親不孝の本質を実践できる人間に
なってほしい。

Aコース副担任 高穂 倫明
『本を読む人だけが手にするもの』
藤原和博著 日本実業出版社
あなたは「なんで本を読んだ方がいいのか？」とい
う質問に答えられますか？親や先生は「本を読みなさい」
と言いますが、その素朴な質問に答えられる人は少ない
のではないのでしょうか。そんな質問に答えてくれる本で
す。読めば、何かわかり、これからの読書に対する考え
方が変わる本です。



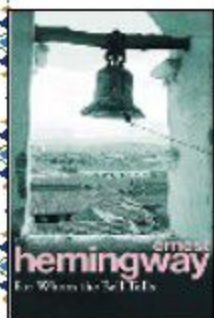
Aコース副担任 岸 広也
『錦織圭〜マイケル・チャンに学んだ勝者の思考』
児玉光雄著 サンクチュアリ出版
この本は2014年に錦織選手が大躍進を遂げた時の
考え方や発言、コーチのマイケル・チャンの指導論
が書かれています。意識を切り替えれば人は大きく
成長できると思った作品です。弱気になってしま
うことがあるけど、もっとスポーツで活躍をしたい、
勉強ができるようになりたいと少しでも思っている
人に読んでほしいです。



Aコース副担任 瓦吹 弘樹
『「自分」の壁』 養老孟司著 新潮社
自分探しはムダなこと！？「壁」とは何か。誰もが
一度は悩み考えたことのある自己のあらゆるテーマにつ
いて「壁」を超えたときに、何がみえるのか。読み進める
につれ納得してしまう内容。養老孟司の『バカの壁』と
合わせて読みたい壁シリーズである。



Aコース副担任 寺門 大輝
『A Farewell to Arms』
ヘミングウェイ著 Everyman's Library
日本語のタイトルは『武器よさらば』。
物語の舞台は第一次世界大戦で、作者の実体
験に基づいている。戦争と愛と死を淡々と描い
ており、戦場から離れようとも
追ってくる死が悲劇的な結末で
表現されている。軍人であろうが、
戦時中であろうが、我々と同じ
ように感情があり、どのように
生きるべきか考えさせられる。



Aコース副担任 稲葉 正祥
『ツレツレハナコのじぶん弁当』
ツレツレハナコ著 小学館
この『ツレツレハナコのじぶん弁当』という本は
多くの弁当のレシピが載っています。材料や手順が
細かく書いてあるので、料理初
心者にはもってこいの本となっ
ています。またおもしろいレシ
ピも載っているので、普段料理
する人にも参考になると思いま
す。ぜひこの本を読んで「じぶ
ん弁当」を作ってください。



Aコース副担任 佐藤 一樹
『さまよう刃』
東野圭吾著 角川書店
普段、本を読まない私でも、スラ
スラと読めた本です。映画化もされ
た作品です。娘を殺害された父親が
少年法で守られた
犯人に対する復讐
劇を描いた内容で
す。読みやすい文
章で、作品にのめ
りこんでいきます。



Bコース主任 神永 豊

『ナナメの夕暮れ』 若林正恭著 文藝春秋
お笑い芸人の中には様々な才能を持っている人が多いような気がします。ピートたけしさんは映画監督や俳優や執筆活動や歌手など多くの才能を発揮しています。また、最近



では芥川賞受賞作家の又吉直樹さんの『花火』など多くの人がいます。その一人として、オードリー若林の本『ナナメの夕暮れ』を読みました。若い時と年老いた時との考えの違いや感受性の違いが我々にはよく分かる内容が書かれていて面白かったです。是非読んでください。

3-10担任 川村 真一

『チーズはどこへ消えた?』 スペンサー・ジョンソン著 扶桑社

2匹のネズミと2人の小人がチーズを探す物語。短いお話だが、考えるきっかけが生まれ、我を振り返りながら読めます。「よかったのは、最初は乗り気でなかったホー達が思い込みを捨てて新しいことを学び、態度も変わって、順応して成功に手を貸していたところです。」なんのこたか分からないと思ったあなた、是非読んでみて下さい。



2-9担任 大塚 義典

『もう一回蹴りたかった』 望月重良著 ひあ

不治の難病になってしまい、プレーすることができなくなってしまった元日本代表『望月重良』の実話。若い時からトップレベルの選手が直面した壁にどう向かい合い、越えていくのか、また今ある当たり前の状況を痛快できる話です。ちょっとした挫折なら前向きに行動できる勇気と気づきを与える作品です。



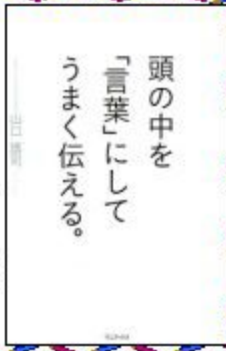
3-11担任 松下 仁美

『3つの真実』 野口 嘉則著 ビジネス社
～人生を変える“愛と幸せと豊かさの秘密”～
ミスター目標達成を襲ったアクシデント。「成功法則にも賞味期限があるのか?」「本当の幸せって何なんだ?」『鏡の法則』の作者が今度は「人生」についての秘密を解き明かす。前作同様お薦めです。



2-10担任 芦間 雄太

『頭の中を「言葉」にしてうまく伝える』 山口 諤司著 ワニブックス
皆さんは相手に分かりやすく自分の考えを伝えられていますか?日頃の会話がヤバイだけで終わっていませんか?この本では自分の考えを言葉にして、うまく伝える技を紹介しています。是非この本を読んで表現力を磨いてみてはいかがでしょうか。



Bコース副担任 五月女 修

『置かれた場所で咲きなさい』 渡辺和子著 幻冬舎

ご存知の方も多いと思う。私は数年前に、ある先生の薦めでこの本を手にとった。「置かれた場所で咲きなさい」それがその先生から私へのメッセージだったのだろう。思うところあって先日再び手に取った。筆者の激動の人生を通じて、自分に問いかける。一度立ち止まって、今そして未来を考えてみては?



Bコース副担任 筑波 大

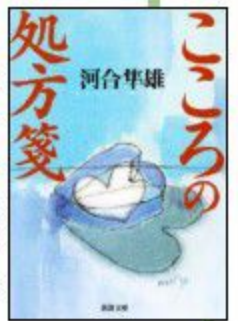
『竜馬がゆく』 司馬遼太郎著 文藝春秋
高校時代に父に勧められて読んだ本です。有名すぎるぐらい有名ですが、今でも自分の人生観に大きな影響を与えた作品の一つであることを思い出して、推薦させていただきました。
坂本龍馬を主人公として描かれた作品や激動の幕末を生きる人々の作品は数多くありますが、その中でも名作の一つであることは間違いありません。「夢」や「ロマン」と言った言葉を使うことすら少なくなってきた現代社会の中で、人生における大切なものを気づかせてくれるかもしれません。長編ですが時間があればぜひ一読を。



Bコース副担任 仁平 礼子

『心の処方箋』 河合隼雄著 新潮社

真面目に頑張っていることの全てが報われるわけでは決してありません。人との付き合い方も難しいですが、案外自分の心と向き合うことも難しいかもしれません。多感な時期の皆さんだからこそ、ポジティブな気持ちになるためにも、自分の心との向き合い方を本書を読んで是非学んでほしいと思います。



Bコース副担任 久賀谷 清一

『杉原千畝物語一命のビザをありがとう』 杉原幸子、杉原弘樹著 金の星社

「東洋のシンドララー」と言われる杉原千畝は、第二次世界大戦中リトアニアのカウナス領事館に勤務し、ナチスドイツの迫害を受けたユダヤ系の人々に同情し、外務省からの訓令に反して大量のビザを発給し、約6,000人の難民を救ったことで有名です。この本は子ども向けですが、面白いです。面接試験の愛読書としても良いと思います。



Bコース副担任 鎌田 大河

『道を教え、「自立」へ導く 花咲徳栄の人間育成術』 岩井隆著 カンゼン

埼玉県にある花咲徳栄高校の野球部をモデルとした作品である。強いチームをつくるためには、選手一人一人がどのような生活を送るべきか。自立とは、本来どのようなことが自立と言えるのか。実体験をもとにした経験と強いチームづくりの方法についてまとめられている。野球のことだけでなく、人間育成についても参考となる一冊である。



読書週間号は次号で最終回!



今号も先生方からいろいろの本が紹介されましたが、読みたいと思える本はありましたか?本を読むことで皆さんはたくさんの言葉に触れます。知らなかった言葉を覚え、思わず感心する、知識を覚える。それはあなたの人間力や表現力を高めることにもなります。本を読んだらまだまだたくさんのメリットがありますよ☆さて、次号は企画号最終回!どうぞお楽しみに!!

